

提案タイトル

少子高齢化社会における自動運転技術を活用した新たな移動サービスの創出と健康寿命の延伸
 ～ 社会保障等の抑制による持続的なまちの発展をめざして ～

内閣府 近未来技術等社会実装事業

提案者	事業分野
大阪府、河内長野市	健康寿命の延伸、移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

■ 背景・課題

- | | |
|---------|---|
| 目指す将来像 | <ul style="list-style-type: none"> 全国を上回るスピードで少子高齢化が進展する大阪において、2025年万博のインパクトを最大限活かしてオール大阪で取組を進め、「自動運転技術」を活用し、高齢者をはじめ誰もが健康でいきいきと活躍できる社会を実現 |
| 解決すべき課題 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪府における少子高齢化や高齢者の交通事故増加に対応した利用しやすい公共交通の構築 外出機会の拡大による高齢者の健康増進(大阪府の健康寿命:男性71.50年(全国39位)女性74.46年(全国34位)(2016年)) |

■ 2020年度までの事業内容

○事業:「自動運転システム」を活用した新たな移動サービス(人・モノ)の実現

活用技術

事業概要

自動運転

- 大阪府の中でトップの高齢化率(町村除く)で、国や民間事業者と連携した公共交通の維持向上や、健康寿命の延伸等を目的としたスマートエイジング・シティの取組を実施している河内長野市を対象に、自動運転システムによる新たな移動サービスの社会実装を実施
 - 「開発団地等における自動運転サービス実装協議会」(仮称)の設置
 - SIPの成果を活用した高精度3Dマップの作成(作成3Dマップはインフラ維持管理等への活用も検討)
 - 将来の5G社会を見据え、5G通信環境での自動運転の実証実験の実施



自動運転サービス走行ルート(イメージ)



事業内容の全体像